



[平成23年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

愛知大学 地域政策学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 愛知大学  
平成23年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画・広報課

職名・氏名 課長・コンドウモヒコ近藤智彦  
係長・シマオ シュン島尾 淳

電話番号 0532-47-4148

（夜間） 0532-47-4111

F A X 0532-47-4149

e-mail kikakukoho@ml.aichi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

## 目 次

1. 調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ P. 1～P. 4
2. 授業科目の概要	・ ・ ・ P. 5～P. 12
3. 施設・設備の整備状況, 経費	・ ・ ・ P. 13～P. 14
4. 既設大学等の状況	・ ・ ・ P. 15～P. 16
5. 教員組織の状況	・ ・ ・ P. 17～P. 39
6. 留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ P. 40
7. その他全般的事項	・ ・ ・ P. 41～P. 44
別紙1「FD（ファカルティ・デベロップメント）委員会規程」	・ ・ ・ P. 45～P. 46
別紙2「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」	・ ・ ・ P. 47

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 愛知大学

## (2) 大学名

愛知大学

## (3) 大学の位置

〒441-8522  
愛知県豊橋市町畑町字町畑1番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(サトウ モトヒコ) 佐藤元彦 (平成20年8月2日)		
学長	(サトウ モトヒコ) 佐藤元彦 (平成20年8月2日)		
学部長	未定	(ワタナベ カズトシ) 渡辺和敏 (平成23年4月1日)	未定としていた学部長について、平成23年4月1日付で就任した(23)
学科長等	—		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)  
平成23年度に報告する内容 → (23)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学部/学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
地域政策学部 地域政策学科 学士(地域政策学)	4年	220人	— 年次人	880人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-人 ( - ) [ - ]	220人 ( - ) [ - ]	-人 ( - ) [ - ]	1.29 倍						
志願者数	( - ) [ - ]	1,617 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
受験者数	( - ) [ - ]	1,595 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
合格者数	( - ) [ - ]	636 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
B 入学者数	( - ) [ - ]	285 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.29			

- (注) ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。  
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] -	[ - ] 285	[ - ] -								
2年次	/		[ - ] -	[ - ] -							
3年次			/		[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -				
4年次	/				[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -				
計			[ - ] -	[ - ] 285	[ - ] -						

- (注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況 【該当なし】

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ]	(累積)計 [ ]	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
  - ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<地域政策学部 地域政策学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	英 語	Reading	1前	1		1						
		TOEIC	1後	1		1						
		Communicative English I	1前	1								
		Communicative English II	1後	1								
		Practical English I	2前	1								
		Practical English II	2後	1								
		Advanced Reading I	2前	1		1						
		Advanced Reading II	2後	1		1						
		Current English I	2前	2								
		Current English II	2後	2								
		Communication Skills I	1・2・3・4	2								
		Communication Skills II	1・2・3・4	2								
	Communication Skills III	1・2・3・4	2									
	Communication Skills IV	1・2・3・4	2									
	中 国 語	入門中国語 I	1前	1		1						
		入門中国語 II	1後	1		1						
		基礎中国語 I	1前	1		1						
		基礎中国語 II	1後	1		1						
		応用中国語 I	2前	1		1						
		応用中国語 II	2後	1		1						
		総合中国語 I	2前	1		1						
		総合中国語 II	2後	1		1						
		中国語会話（初級） I	1前	1		1						
		中国語会話（初級） II	1後	1		1						
		中国語会話（中級） I	2前	1		1						
		中国語会話（中級） II	2後	1		1						
	コミュニケーション中国語 IA	3前	2		1							
	コミュニケーション中国語 IB	3後	2		1							
	コミュニケーション中国語 II A	3前	2									
	コミュニケーション中国語 II B	3後	2									
	韓 国・朝 鮮 語	入門韓国・朝鮮語 I	1前	1								
		入門韓国・朝鮮語 II	1後	1								
		基礎韓国・朝鮮語 I	1前	1								
		基礎韓国・朝鮮語 II	1後	1								
	ポ ル ト ガ ル 語	入門ポルトガル語 I	1前	1								
		入門ポルトガル語 II	1後	1								
		基礎ポルトガル語 I	1前	1								
		基礎ポルトガル語 II	1後	1								
	日 本 語	日本語・表現 I	未開講 1前	1		1						留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
		日本語・表現 II	未開講 1後	1		1						留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
		日本語・論文技術（基礎） I	未開講 1前	1								留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
		日本語・論文技術（基礎） II	未開講 1後	1								留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
日本語・総合 I		2前	1		1							
日本語・総合 II		2後	1		1							
日本語・論文技術（応用） I		2前	1									
日本語・論文技術（応用） II		2後	1									
アカデミック日本語 I		3前	2		1							
アカデミック日本語 II		3後	2		1							
ビジネス日本語 I	3前	2		1								
ビジネス日本語 II	3後	2		1								
フ ラ ン ス 語	入門フランス語 I	1前	1									
	入門フランス語 II	1後	1									
	基礎フランス語 I	未開講 1前	1								履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)	
	基礎フランス語 II	1後	1									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	ドイツ語	入門ドイツ語Ⅰ	1前	1								履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)
		入門ドイツ語Ⅱ	1後	1								
		基礎ドイツ語Ⅰ	未開講 1前	1								
		基礎ドイツ語Ⅱ	1後	1								
	ロシア語	入門ロシア語Ⅰ	未開講 1前	1								履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)
		入門ロシア語Ⅱ	1後	1								
		基礎ロシア語Ⅰ	未開講 1前	1								
		基礎ロシア語Ⅱ	1後	1								
	外国語分野	世界の言語Ⅰ	2前	2								
		世界の言語Ⅱ	2後	2								
		古典言語Ⅰ	2・3・4	2								
		古典言語Ⅱ	2・3・4	2								
		海外セミナー(英語)Ⅰ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(ドイツ語)Ⅰ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(フランス語)Ⅰ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(中国語)Ⅰ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(韓国語)Ⅰ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(英語)Ⅱ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(ドイツ語)Ⅱ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(フランス語)Ⅱ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(中国語)Ⅱ	1・2・3・4	2			1					
		海外セミナー(韓国語)Ⅱ	1・2・3・4	2			1					
		外国理解(英語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
		外国理解(ドイツ語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
		外国理解(フランス語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
		外国理解(中国語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
		外国理解(韓国語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
		外国理解(タイ語圏)Ⅰ	1・2・3・4	4			1					
	外国理解(英語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1						
	外国理解(ドイツ語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1						
	外国理解(フランス語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1						
	外国理解(中国語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1						
	外国理解(韓国語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1						
外国理解(タイ語圏)Ⅱ	1・2・3・4	4			1							
数理・情報分野	数理科学	1・2・3・4	2			1					開講クラス数の調整により、蔣湧教授→駒木伸比古助教(23)	
	確率入門	1・2・3・4	2			1						
	統計学入門	1・2・3・4	2			1						
	マルチメディア表現	1・2・3・4	2				1					
	ネットワーク演習	1・2・3・4	2						1			
	社会データ分析入門	1・2・3・4	2			0 +				1		
	プログラミング	1・2・3・4	2							1		
	情報の科学	1・2・3・4	2							1		
情報総合演習	1・2・3・4	2			0 +	0 +			1 2	開講クラス数の調整により、蔣湧教授 湯川治敏准教授 駒木伸比古助教 澤田貴行助教 → 澤田貴行助教 坂井秀一兼任講師 平川雄一兼任講師 (23)		
自然分野	物質の科学	1・2・3・4	2			2					担当者変更(功刀由紀子教授→広木詔三兼担教授)(23)	
	地球の科学	1・2・3・4	2			1						
	宇宙の科学	1・2・3・4	2			1						
	科学技術史	1・2・3・4	2			1						
	現代技術と社会	1・2・3・4	2			1						
	地球環境問題	1・2・3・4	2			1						
	自然環境と地理	1・2・3・4	2									
	生物の科学	1・2・3・4	2			0 +						
	生態学	1・2・3・4	2									
	動物行動学	1・2・3・4	2									
	健康科学	1・2・3・4	2									
	スポーツ工学	1・2・3・4	2					1				
トレーニング科学	1・2・3・4	2										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
共通教育科目	社会分野	歴史学	1-2-3-4	2			1					履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)	
		考古学	1-2-3-4	2									
		地理学	1-2-3-4	2									
		社会学	1-2-3-4	2									
		情報と社会	未開講 1-2-3-4	2									
		レクリエーション論	1-2-3-4	2									
		ジェンダー論	1-2-3-4	2									
		政治学	1-2-3-4	2			1						教育の充実を図るため追加（今里佳奈子教授）(23)
		経済学	1-2-3-4	2									
		法学	1-2-3-4	2									
		経営学	1-2-3-4	2									
	憲法	1-2-3-4	2										
	人文分野	哲学	1-2-3-4	2								留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23) 留学生対象の科目であり、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)	
		論理学	1-2-3-4	2									
		宗教学	1-2-3-4	2									
		心理学	1-2-3-4	2									
		文化人類学	1-2-3-4	2									
		現代の思想	1-2-3-4	2									
		民俗学	1-2-3-4	2			1						
		スポーツ文化論	1-2-3-4	2			1						
		日本事情 I	未開講 1-2-3-4	2									
		日本事情 II	未開講 1-2-3-4	2									
		文学	1-2-3-4	2									
	総合	総合科目	1-2-3-4	2			1						
			2-3-4	2			2						
		体育分野	スポーツ・健康演習	1前後	2			1	2		1		
			スポーツ実技 I	2-3-4	1			1	2		1		
スポーツ実技 II			2-3-4	1			1	2		1			

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専 門 教 育 科 目	演 習 科 目 群	学習法	1通	4			20 <del>19</del>	5 <del>6</del>			2	担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
		研究法	2通	4			11 <del>10</del>	4 <del>5</del>			2	担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
		ゼミナールⅠ	3通	4			20 <del>19</del>	5 <del>6</del>			2	担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
		ゼミナールⅡ	4通	4			20 <del>19</del>	5 <del>6</del>			2	担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
		卒業研究	4通	4			20 <del>19</del>	5 <del>6</del>			2	担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
	基 幹 科 目 群	政 策 分 野 科 目	地域政策入門	1前	2				1				
			現代日本の政治	1後		2							
			行政学	1後		2		1					
			行政の諸領域と法	2前		2							
			地域行政論	2前		2		1					
			国土計画論	2前		2		1					
			地域の自治と政治	2後		2		1					
			政策過程論	2後		2			1				
			都市計画学	2後		2		1					
			公共セクター論	3前		2							
			政策評価論	3前		2			1				
			リスクコミュニケーション	3前		2		1					
			現代経済事情	1前		2				1			
			理論経済学	1後		2				1			
			経済原論	1後		2							
財政学	2前		2		1								
金融論	2後		2				1						
地方財政論	2後		2		1								
地 域 関 連 科 目 群	地 域 関 連 科 目	現代の地域問題	1後	2			6 <del>5</del>	0 <del>1</del>				担当者の一人である准教授が教授に昇格（西村正広教授）（23）	
		自然環境論	1前		2		3						
		少子高齢社会論	2前		2		1						
		地域コミュニティ論	2後		2								
		地域学概論	2後		2		1						
		地域生活史	3前		2		1						
		東海地域の今日的課題	3前		2		1						
		インターンシップ	3前		2		1						
		地域政策学特殊講義	3後		2		1						
		G I S 概論	2前		2						1		
		G I S 演習Ⅰ	2後		2		1				1		
		G I S 演習Ⅱ	3前		2		1						
		地域政策とG I S活用	3後		2				1			2	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育科目	展開 科目群  公共 政策系 科目	公共政策論	2前	2			1					担当者である准教授が教授に昇格 (西村正広教授) (23)
		地方自治体論	2後	2								
		経済政策論	2後	2			1					
		社会福祉政策論	2後	2			1	+				
		自治体公務員論	3前	2			1					
		国際通商政策論	3前	2			1					
		交通運輸政策論	3前	2								
		保健医療政策論	3前	2			1	+				
		災害と防災 NPO論	3前	2			1					
		教育政策論	3後	2								
		環境政策論	3後	2								
		労働政策論	3後	2			1	+				
		食品安全政策論	3後	2			1					
		文化政策論	3後	2								
	経営法務論	2前	2			1						
	地域 産業系 科目	地域産業論	2前	2			1					
		中小企業論	2前	2			1					
		国際ビジネス論	2後	2			1					
		現代科学技術論	2後	2			1					
		日本経済史	2後	2			1					
		近代産業技術史	3前	2								
		地域統計論	3前	2			1					
		森林の管理と経営	3前	2								
		地域金融論	3前	2				1				
		企業発展論	3前	2			1					
		東アジア経済事情	3前	2								
		農業経済論	3前	2				1				
協同組合論		3後	2				1					
地域産業史	3後	2			1							
貿易商務論	3後	2			1							
経済地理学	3後	2										
水産資源論	3後	2										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門教育科目	まちづくり系科目	まちづくりとデータ分析	2前	2					1			
		生涯学習論	2前	2								
		ワークショップ演習	2後	2				1				
		生活インフラ論	2後	2								
		流域管理論	2後	2								
		ワークショップとまちづくり	3前	2			1			1		
		中山間過疎地域論	3前	2			1					
		エコ地域づくり論	3前	2								
		都市と水	3前	2								
		地域資源論	3後	2						1		
		創造都市論	3後	2								
		コミュニティ・ビジネス論	3後	2								
		地域イノベーション論	3後	2			1					
		地域通貨論	3後	2								
		地域文化系科目	地域文化論	2前	2			1				
	ツーリズム文化論		2後	2			1					
	英米の文化とツーリズム		2後	2			1					
	地域の食文化		2後	2			1					
	地域史料講読		2後	2			1					
	フィールドワーク方法論		2後	2			4					
	言語と地域		2後	2			1					
	エスニック・アート		2後	2			1					
	地域史料研究		3前	2			1					
	ツーリズム政策論		3前	2			1					
	フィールドワーク		3前	2			4					
	食具論		3前	2			1					
	地域間交通史		3後	2			1					
	グリーン・ツーリズム論		3後	2								
	多文化共生論		3後	2			1					
	世界遺産研究	3後	2			1						
	健康・スポーツ系科目	健康・スポーツ政策論	2前	2			1					
		健康行動論	2後	2						1		
		スポーツ社会学	2後	2					1			
		スポーツ・バイオメカニクス	2後	2					1			
		スポーツ経営学	3前	2					1			
		ジュニアスポーツ論	3前	2								
		公衆衛生	3前	2								
		スポーツ・マネジメント論	3前	2					1			
		スポーツ指導論	3前	2			1					
		運動生理学	3前	2							1	
		スポーツ心理学	3前	2								
		セーフティ・マネジメント	3前	2								
		スポーツ産業論	3後	2					1			
		地域スポーツ運営論	3後	2			1					
		アダプテッド・スポーツ論	3後	2								
精神保健	3後	2										
学校保健	3後	2										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 教育 科目	隣接・ 関連 科目 群	博物館概論	2前	2		1						
		ミュージアム展示論	2後	2		1						
		文化情報・メディア論	2後	2				1				
		競技者育成論	3前	2								
		スポーツ方法Ⅰ	2前	1								
		スポーツ方法Ⅱ	2前	1								
		スポーツ方法Ⅲ	2後	1					2			
		スポーツ方法Ⅳ	2後	1			1					
		スポーツ方法Ⅴ	3前	1								
		スポーツ方法Ⅵ	3前	1					1		1	
		スポーツ方法Ⅶ	3後	1			1				1	
		スポーツ方法Ⅷ	3後	1								

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	262	0	270	8	262	0	270	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	日本語・表現Ⅰ	1	1	一般	選択	いずれの科目も、留学生を対象としており、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
2	日本語・表現Ⅱ	1	1	一般	選択	
3	日本語・論文技術(基礎)Ⅰ	1	1	一般	選択	
4	日本語・論文技術(基礎)Ⅱ	1	1	一般	選択	
5	日本事情Ⅰ	2	1	一般	選択	
6	日本事情Ⅱ	2	1	一般	選択	

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成23年度留学生不在につき、留学生対象の上記6授業科目を未開講とする次第であり、支障はない。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.02$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知大学短期大学部 と共用 借用面積：15,068㎡ 借用期間：平成22.3.1 から50年				
	校舎敷地	17,393 ㎡	96,974 ㎡	0 ㎡	114,367 ㎡					
	運動場用地	0 ㎡	72,845 ㎡	0 ㎡	72,845 ㎡					
	小 計	17,393 ㎡	169,819 ㎡	0 ㎡	187,212 ㎡					
	そ の 他	6,432 ㎡	9,279 ㎡	0 ㎡	15,711 ㎡					
	合 計	23,825 ㎡	179,098 ㎡	0 ㎡	202,923 ㎡					
(2) 校 舎	専 用	82,431 ㎡	31,213 ㎡	3,231 ㎡	116,875 ㎡	愛知大学短期大学部 と共用				
	( 65,512 ㎡)	( 31,213 ㎡)	( 3,231㎡)	( 99,956㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	48 室	演 習 室	38 室	実験実習室	1 室	情報処理学習施設	7 室 (補助職員8人)	語学学習施設	2 室 (補助職員3人)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		地域政策学部 地域政策学科			29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	視聴覚資料、機械・器具、 標本は大学全体での 共用分  【図書(和書)・学術 雑誌(和書)】必要冊 数が予定より少なかった ため減った(23) 【図書(外国書)・学 術雑誌(外国書)・機 械・器具】精選した結 果増えた(23) 【視聴覚資料】当初ビ デオテープとDVDのみを 視聴覚資料としていた が、より正確性を期す べくCD、CD-ROMも加え たため増えた(23)		
	地域政策学部	134,425 [50,852]  (130,669 [50,747]) (131,095 [50,738])	70 [18] <del>(13)</del>  (52 [18]) (70 [13])	3 [3]  (3 [3])	10,500 <del>5,400</del>  (10,088) (5,352)	17,500  (17,500) (17,422)	14  (14)			
	計	134,425 [50,852]  (130,669 [50,747]) (131,095 [50,738])	70 [18] <del>(13)</del>  (52 [18]) (70 [13])	3 [3]  (3 [3])	10,500 <del>5,400</del>  (10,088) (5,352)	17,500  (17,500) (17,422)	14  (14)			
	(6) 図 書 館	面 積	7,900 ㎡	閱 覧 座 席 数	853 830	収 納 可 能 冊 数	793,050			
(7) 体 育 館	面 積	4,461 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要							
			テニスコート7面、プール1面、ゴルフ練習場1面、弓道場等							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	必要とした書籍が予定 よりも少なかったため (23)  図書費には電子ジャーナル データベースの整備費(運 用コスト含む)を含む。  開設前年度は必要最小 限に留め、開設後順次 整備することとしたた め(23)	
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	5,028千円 <del>8,000千円</del>	8,000千円	8,000千円		
		共同研究費等	2,800千円	2,800千円	設備購入費	1,585千円 <del>7,000千円</del>	7,000千円	7,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,110千円	910千円	910千円	910千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等								

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	愛知大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部								愛知県豊橋市町畑町字町畑1番地の1	
人文社会学科	4	325	—	1,300	学 士 (文学) 学 士 (心理学) 学 士 (社会学)	1.15	平成 17年度		
哲学科	4	—	—	—	学 士 (文学)	—	昭和 33年度		平成17年より学生募集停止
社会学科	4	—	—	—	学 士 (社会学)	—	昭和 24年度		平成17年より学生募集停止
史学科	4	—	—	—	学 士 (文学)	—	昭和 31年度		平成17年より学生募集停止
日本・中国文学科	4	—	—	—	学 士 (文学)	—	平成 11年度		平成17年より学生募集停止
欧米文学科	4	—	—	—	学 士 (文学)	—	平成 11年度		平成17年より学生募集停止
経済学部								同上	
経済学科	4	330	—	1,455	学 士 (経済学)	1.17	平成 元年度		
国際コミュニケーション学部								同上	
言語コミュニケーション学科	4	115	—	460	学 士 (外国語)	1.17	平成 10年度		
比較文化学科	4	115	—	460	学 士 (比較文化)	1.18	平成 10年度		
法 学 部								<1・2年次生> 愛知県みよし市黒笹町清水370 <3・4年次生> 愛知県名古屋市東区筒井二丁目10番31号	
法学科	4	315	—	1,260	学 士 (法学)	1.20	平成 元年度		

経営学部									愛知県みよし市黒 笹町清水370
経営学科	4	250	—	1,000	学 士 (経営学)	1.19	平成 元年度		
会計ファイナンス学科	4	125	—	500	学 士 (経営学)	1.23	平成 17年度		
現代中国学部									同上
現代中国学科	4	180	—	720	学 士 (現代中 国学)	1.18	平成 9年度		
地域政策学部									愛知県豊橋市町 畑町字町畑1番 地の1
地域政策学科	4	220	—	880	学 士 (地域政 策学)	1.29	平成 23年度		
大学の名称	愛 知 大 学 短 期 大 学 部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
ライフデザイン 総合学科	2	200	—	400	短期大学士 (ライフデザイン 総合)	0.88	平成 17年度	愛知県豊橋市町 畑町字町畑1番 地の1	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<地域政策学部 地域政策学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	阿部 聖	平成23年4月	日本経済史 インターンシップ 企業発展論 地域産業史 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	教授	荒川 清秀	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 総合中国語Ⅰ 総合中国語Ⅱ 言語と地域 学習法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	教授	今里 佳奈子	平成23年4月	行政学 地域行政論 地域の自治と政治 現代の地域問題 ※ 自治体公務員論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究					行政学 地域行政論 地域の自治と政治 現代の地域問題 ※ 自治体公務員論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 政治学	「政治学」は、教育の充実を図るため追加 (23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	岩崎 正弥	平成23年4月	現代の地域問題 ※ 地域学概論 東海地域の今日的課題 ワークショップとまちづくり 中山間過疎地域論 学習法 研究法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						
専	教授	印南 敏秀	平成23年4月	民俗学 総合科目 地域の食文化 フィールドワーク方法論 ※ フィールドワーク 博物館概論 食具論 ※ 学習法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						
専	教授	小津 秀晴	平成23年4月	確率入門 統計学入門 物質の科学 宇宙の科学 現代技術と社会 総合演習 自然環境論 ※ 現代科学技術論 学習法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	沓掛 俊夫	平成23年4月	数理学 地球の科学 科学技術史 地球環境問題 総合演習 自然環境論※ 災害と防災 学習法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	教授	功刀 由紀子	平成23年4月	物質の科学 生物の科学 リスクコミュニケーション 自然環境論※ 地域政策学特殊講義 食品安全政策論 学習法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「生物の科学」は、広木詔三兼任教授が複数クラスを担当することとなったため、平成23年度は担当しない(23)  「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	教授	蔦 湧	平成23年4月	社会データ分析入門 情報総合演習 GIS演習Ⅰ GIS演習Ⅱ 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「社会データ分析入門」及び「情報総合演習」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)  「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	教授	鈴木 誠	平成23年4月	中小企業論 現代の地域問題 ※ 地域産業論 地域統計論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	高橋 貴	平成23年4月	地域文化論 フィールドワーク方法論 ※ フィールドワーク ミュージアム展示論 エスニック・アート 学習法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	教授	張 彼平	平成23年4月	応用中国語 I 応用中国語 II 中国語会話(初級) I 中国語会話(初級) II 中国語会話(中級) I 中国語会話(中級) II コミュニケーション中国語 I A コミュニケーション中国語 I B						
専	教授	戸田 敏行	平成23年4月	国土計画論 都市計画学 地域イノベーション論 学習法 研究法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						
専	教授	中崎 温子	平成23年4月	日本語・表現 I 日本語・表現 II 日本語・総合 I 日本語・総合 II アカデミック日本語 I アカデミック日本語 II ビジネス日本語 I ビジネス日本語 II 日本語学 多文化共生論 学習法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究						「日本語・表現 I」及び「日本語・表現 II」は、留学生を対象としており、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	名和 聖高	平成23年4月	経営法務論 国際通商政策論 国際ビジネス論 貿易商務論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	教授	新井野 洋一	平成23年4月	スポーツ文化論 スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 現代の地域問題 ※ 少子高齢社会論 健康・スポーツ政策論 地域スポーツ運営論 スポーツ指導論 スポーツ方法Ⅳ スポーツ方法Ⅶ 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	教授	西堀 喜久夫	平成23年4月	財政学 経済政策論 地方財政論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						

認可時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
	専 教授	早川 勇	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II 言語と文化 英米の文化とツーリズム 学習法 ゼミナール I ゼミナール II 卒業研究 海外セミナー(英語) I 海外セミナー(ドイツ語) I 海外セミナー(フランス語) I 海外セミナー(中国語) I 海外セミナー(韓国語) I 海外セミナー(英語) II 海外セミナー(ドイツ語) II 海外セミナー(フランス語) II 海外セミナー(中国語) II 海外セミナー(韓国語) II 外国理解(英語圏) I 外国理解(ドイツ語圏) I 外国理解(フランス語圏) I 外国理解(中国語圏) I 外国理解(韓国語圏) I 外国理解(タイ語圏) I 外国理解(英語圏) II 外国理解(ドイツ語圏) II 外国理解(フランス語圏) II 外国理解(中国語圏) II 外国理解(韓国語圏) II 外国理解(タイ語圏) II					

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	安福 恵美子	平成24年4月	ツーリズム文化論 フィールドワーク方法論※ ツーリズム政策論 フィールドワーク 世界遺産研究 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	教授	渡辺 和敏	平成23年4月	歴史学 現代の地域問題 ※ 地域生活史 地域史料講読 フィールドワーク方法論 ※ 地域史料研究 フィールドワーク 地域間交通史 学習法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	准教授	元 晶焔	平成23年4月	スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ スポーツ社会学 スポーツ経営学 スポーツ・マネジメント論 スポーツ産業論 スポーツ方法Ⅲ 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	片倉 和人	平成24年4月	農業経済論 協同組合論 ワークショップ演習 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	准教授	竹田 聡	平成23年4月	現代経済事情 理論経済学 金融論 地域金融論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	准教授	西村 正広	平成23年4月	現代の地域問題 ※ 社会福祉政策論 保健医療政策論 労働政策論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究		教授				平成23年4月教授昇格(23)  「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	准教授	野田 遊	平成23年4月	地域政策入門 政策過程論 政策評価論 公共政策論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	湯川 治敏	平成23年4月	マルチメディア表現 情報総合演習 スポーツ工学 スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 地域政策とGIS活用 文化情報・メディア論 ※ スポーツ・バイオメカニクス スポーツ方法Ⅲ スポーツ方法Ⅵ スポーツ方法Ⅶ 学習法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						「情報総合演習」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)  「学習法」は、輪番制のため平成23年度は担当しない(23)
専	助教	尼崎 光洋	平成23年4月	スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ 健康行動論 スポーツ心理学 スポーツ方法Ⅵ スポーツ方法Ⅶ 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究						
専	助教	駒木 伸比古	平成23年4月	情報総合演習 GIS概論 地域政策とGIS活用 まちづくりとデータ分析 地域資源論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究					情報総合演習 GIS概論 地域政策とGIS活用 まちづくりとデータ分析 地域資源論 学習法 研究法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会データ分析入門	「情報総合演習」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)  「社会データ分析入門」は、担当科目の調整の結果追加(23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	澤田 貴行	平成23年4月	プログラミング 情報総合演習 GIS演習 I 地域政策とGIS活用 ワークショップとまちづくり						
兼担	教授	有蘭 正一郎	平成23年4月	地理学	兼担 兼任	助教 講師	近藤 暁夫 高橋 大輔	平成23年4月 平成23年4月	地理学 地理学	担当者変更(23) 担当者変更(23)
兼担	教授	伊集院 利明	平成23年4月	古典言語 I 古典言語 II 哲学 現代の思想						
兼担	教授	伊藤 勲	平成23年4月	文学						
兼担	教授	伊東 利勝	平成24年4月	世界の言語 I 世界の言語 II						
兼担	教授	宇佐美 一博	平成23年4月	哲学 言語と文化						「言語と文化」は、臼田真佐子兼担教授が担当することとなったため、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	漆谷 広樹	平成23年4月	日本語学 総合演習						
兼担	教授	海老澤 善一	平成23年4月	哲学 論理学						
兼担	教授	片岡 邦好	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	桑島 由美子	平成23年4月	入門中国語 I 入門中国語 II 基礎中国語 I 基礎中国語 II 応用中国語 I 応用中国語 II 総合中国語 I 総合中国語 II						「入門中国語」及び「基礎中国語」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	河野 真	平成23年4月	古典の世界					文学	担当科目変更(23) 「古典の世界」は、松村美奈兼任講師のクラス増により対応するため支障はない。 「文学」は、教育の充実を図るため追加。
兼担	教授	小浜 ふみ子	平成24年4月	地域コミュニティ論			後任未定			平成23年3月 小浜ふみ子教授本学退職(23) 「後任未定」兼担または兼任教員採用を検討中。 「地域コミュニティ論」は、2年次配当科目(平成24年度開講)のため、今年度は支障はない。

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	サイモン ジョージ ナダ	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II						
兼担	教授	沢井 耐三	平成23年4月	古典の世界	兼担	教授	和田 明美	平成23年4月	古典の世界	担当者変更(23)
兼担	教授	ジョン ハミ ルトン	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	鈴木 規夫	平成23年4月	政治学 宗教学						
兼担	教授	鈴木 康志	平成23年4月	基礎ドイツ語 I 基礎ドイツ語 II						「基礎ドイツ語」は、履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)
兼担	教授	セルジュ ジュンタ	平成23年4月	入門フランス 語 I 入門フランス 語 II						「入門フランス語」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	土屋 洋二	平成23年4月	言語と文化						
兼担	教授	永瀬 美智子	平成23年4月	Reading TOEIC						「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	樋口 義治	平成23年4月	動物行動学 心理学						
兼担	教授	樋野 芳雄	平成23年4月	社会学						
兼担	教授	広木 詔三	平成23年4月	地球環境問題 生物の科学 生態学 総合科目 自然環境論 ※						「総合科目」は、開講クラス数を調整した結果、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	三野 豊浩	平成23年4月	入門中国語 I 入門中国語 II 基礎中国語 I 基礎中国語 II						「入門中国語」及び「基礎中国語」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼担	教授	宮沢 哲男	平成23年4月	地理学 自然環境と地理 自然環境論 ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	宮沢 哲男	平成24年4月	地理学 自然環境と地理 自然環境論※ 流域管理論 都市と水						
兼任	教授	村瀬 智彦	平成24年4月	スポーツ方法Ⅱ						
兼任	准教授	臼田 真佐子	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ		教授			入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 言語と文化	平成23年4月教授昇格(23) 「入門中国語」及び「基礎中国語」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、本人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23) 「言語と文化」は、担当者変更により追加(23)
兼任	准教授	河合 まゆみ	平成23年4月	入門ドイツ語Ⅰ 入門ドイツ語Ⅱ						
兼任	准教授	葛谷 登	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ						「入門中国語」及び「基礎中国語」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	准教授	小島 基洋	平成24年4月	Practical EnglishⅠ Practical EnglishⅡ						
兼任	准教授	塩山 正純	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ 総合中国語Ⅰ 総合中国語Ⅱ コミュニケーション中国語ⅡA コミュニケーション中国語ⅡB						「入門中国語」及び「基礎中国語」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	准教授	清水 伸子	平成23年4月	入門ロシア語Ⅰ 入門ロシア語Ⅱ 基礎ロシア語Ⅰ 基礎ロシア語Ⅱ						「入門ロシア語」及び「基礎ロシア語」は、履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	下野 正俊	平成23年4月	哲学						
兼任	准教授	中尾 充良	平成23年4月	基礎フランス語 I 基礎フランス語 II 文学						【基礎フランス語I】は、履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)
兼任	准教授	三川 克俊	平成24年4月	Current English I Current English II						
兼任	助教	ケイト サカキヤマ (榊山 ケイト)	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II						
兼任	助教	ジャック ライアン	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II	兼任	助教	アーン フォックス	平成23年4月		語学教育研究室所属教員の退職、後任採用があったため、担当者変更(23)
兼任	助教	マーク ジェラード	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II						
兼任	助教	ローリー ジョン デビス	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II	兼任	助教	ザイン リッチー	平成23年4月		語学教育研究室所属教員の退職、後任採用があったため、担当者変更(23)
兼任	講師	相葉 吉輝	平成24年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II						
兼任	講師	青嶋 由美子	平成24年4月	Practical English I Practical English II						
兼任	講師	青柳 真紀子	平成25年4月	精神保健						
兼任	講師	秋山 知宏	平成26年4月	自然環境論 ※ 流域管理論 都市と水						
兼任	講師	味岡 伸太郎	平成23年4月	芸術論						
兼任	講師	天野 武弘	平成25年4月	近代産業技術史						
兼任	講師	荒井 文昭	平成25年4月	教育政策論						
兼任	講師	安藤 伸二	平成25年4月	東アジア経済事情						
兼任	講師	飯本 雄二	平成24年4月	競技者育成論 スポーツ方法 I						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	池 和子	平成23年4月	Reading TOEIC						「Reading」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	石川 智嘉子	平成23年4月	日本事情 I 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・総合 I 日本語・総合 II 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) II						「日本事情」、「日本語・論文技術(基礎) I」、「日本語・論文技術(基礎) II」は、留学生を対象としており、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
兼任	講師	石田 卓生	平成23年4月	基礎中国語 I 基礎中国語 II						「基礎中国語 I」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	石原 和子	平成23年4月	法学						
兼任	講師	磯部 美里	平成23年4月	入門中国語 I 入門中国語 II 宗教学						
兼任	講師	板倉 文彦	平成23年4月	経営学						
兼任	講師	福田 充男	平成23年4月	情報総合演習						平成23年3月 福田充男兼任講師本学退職(23) 「情報総合演習」は、澤田貴行助教等のクラス増により対応するため支障はない。
兼任	講師	井上 善友	平成23年4月	社会学						
兼任	講師	岩佐 宣明	平成23年4月	現代の思想	兼任	講師	高木 西子	平成23年4月	現代の思想	担当者変更(23)
兼任	講師	岩崎 一孝	平成26年4月	自然環境と地理						
兼任	講師	上野 由紀子	平成23年4月	入門中国語 I 入門中国語 II 基礎中国語 I 基礎中国語 II						
兼任	講師	牛山 幸彦	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	内田 恵	平成24年4月	Practical English I Practical English II						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	大塚 辰夫	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	大橋 秀子	平成23年4月	ジェンダー論						
兼任	講師	大村 光代	平成25年4月	公衆衛生						
兼任	講師	岡本 淨実	平成23年4月	健康科学 レクリエーション論 スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ方法Ⅲ						
兼任	講師	小川 桂子	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	小澤 実	平成24年4月	古典言語Ⅰ 古典言語Ⅱ						
兼任	講師	小原 道雄	平成23年4月	現代日本の政治						
兼任	講師	加藤 和美	平成23年4月	Reading TOEIC						「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	加藤 寛昭	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ						
兼任	講師	金子 延康	平成25年4月	創造都市論						
兼任	講師	加納 俊介	平成23年4月	歴史学 考古学						
兼任	講師	川口 洋史	平成23年4月	歴史学						
兼任	講師	川名 真弓	平成24年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	姜 信和	平成23年4月	入門韓国・朝鮮語Ⅰ 入門韓国・朝鮮語Ⅱ 基礎韓国・朝鮮語Ⅰ 基礎韓国・朝鮮語Ⅱ						「入門韓国・朝鮮語Ⅰ」及び「基礎韓国・朝鮮語Ⅰ」は、当人の体調不良のため、平成23年度は担当しない(23) 「入門韓国・朝鮮語Ⅰ」は朴蓮淑兼任講師、「基礎韓国・朝鮮語Ⅰ」は世古口真兼任講師のそれぞれクラス増により対応するため支障はない。
兼任	講師	北見 宏介	平成24年4月	行政の諸領域と法						
兼任	講師	木下 恭子	平成24年4月	Practical English I Practical English II				平成23年4月	Practical English I Practical English II Reading TOEIC	「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が当該学部クラスを担当することに伴い、平成23年度に繰り上げて担当。「TOEIC」は、平成23年度後期に開講(23)
兼任	講師	黍嶋 久好	平成24年4月	地方自治体論 グリーン・ツーリズム論						
兼任	講師	木見尻 哲生	平成24年4月	生涯学習論						
兼任	講師	小磯 浩世	平成23年4月	スポーツ・健康演習						
兼任	講師	小嶋 祐輔	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	後藤 尚弘	平成25年4月	エコ地域づくり論						
兼任	講師	権田 研亮	平成23年4月	Reading TOEIC Practical English I Practical English II Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	久住 マルシア (久住 和恵)	平成23年4月	入門ポルトガル語Ⅰ 入門ポルトガル語Ⅱ 基礎ポルトガル語Ⅰ 基礎ポルトガル語Ⅱ						
兼任	講師	齊藤 正高	平成23年4月	情報の科学 情報と社会						「情報と社会」は、履修希望者がいないため平成23年度は開講しない(23)
兼任	講師	齋藤 健治	平成23年4月	スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ スポーツ方法Ⅳ スポーツ方法Ⅶ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	齋藤 佳子	平成23年4月	Reading TOEIC Practical English I Practical English II						
兼任	講師	坂井 秀一	平成23年4月	情報総合演習						
兼任	講師	佐久間 邦弘	平成23年4月	スポーツ・健康演習						
兼任	講師	佐藤 正之	平成23年4月	マルチメディア表現 ネットワーク演習 社会データ分析入門 GIS演習 I						「社会データ分析入門」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	佐藤 良子	平成23年4月	日本事情 II						「日本事情 II」は、留学生を対象としており、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
兼任	講師	繁原 央	平成23年4月	文化人類学						
兼任	講師	渋谷 博幸	平成25年4月	経済地理学						
兼任	講師	渋谷 典子	平成25年4月	コミュニティ・ビジネス論						
兼任	講師	杉浦 明巳	平成25年4月	地域通貨論						
兼任	講師	杉町 明子	平成23年4月	スポーツ・健康演習 スポーツ実技 I スポーツ方法 V						
兼任	講師	鈴木 理	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	鈴木 里美	平成25年4月	セーフティ・マネジメント						
兼任	講師	鈴木 常勝	平成24年4月	応用中国語 I 応用中国語 II						
兼任	講師	鈴木 光善	平成23年4月	法学 憲法						
兼任	講師	鈴木 良昌	平成25年4月	食具論 ※						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	世古口 真	平成23年4月	入門韓国・朝鮮語 I 入門韓国・朝鮮語 II 基礎韓国・朝鮮語 I 基礎韓国・朝鮮語 II						「入門韓国・朝鮮語I」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	祖父江 美穂	平成24年4月	Practical English I Practical English II				平成23年4月	Practical English I Practical English II Reading TOEIC	「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が当該学部クラスを担当することに伴い、平成23年度に繰り上げて担当。「TOEIC」は、平成23年度後期に開講(23)
兼任	講師	高木 秀和	平成25年4月	水産資源論						
兼任	講師	高丸 功	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	田本 真喜子	平成23年4月	Reading TOEIC Advanced Reading I Advanced Reading II						平成23年3月 田本真喜子兼任講師本学退職(23) 「Reading」及び「TOEIC」は早川勇教授のクラス増により対応。 「Advanced Reading I」及び「Advanced Reading II」は2年次配当科目(平成24年度開講)のため、支障はない。
兼任	講師	張 慧娟	平成23年4月	入門中国語 I 入門中国語 II 応用中国語 I 応用中国語 II						「入門中国語I」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	陳 秦銀	平成23年4月	基礎中国語 I 基礎中国語 II 応用中国語 I 応用中国語 II						「基礎中国語I」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	橋原 徹也	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	津村 公博	平成24年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II						
兼任	講師	鶴見 恵子	平成23年4月	スポーツ・健康演習						
兼任	講師	寺坂 エ	平成23年4月	トレーニング科学 スポーツ・健康演習 スポーツ実技 I						
兼任	講師	蓬郷 尚代	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	内藤 節子	平成25年4月	NPO論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	中川 清	平成23年4月	経済原論						
兼任	講師	中嶋 こずえ	平成24年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II				平成23年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II Reading TOEIC	「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、本人が当該学部クラスを担当することに伴い、平成23年度に繰り上げて担当。「TOEIC」は、平成23年度後期に開講(23)
兼任	講師	中島 史朗	平成25年4月	アダプテッド・スポーツ論 スポーツ方法Ⅷ						
兼任	講師	中西 千香	平成23年4月	基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ						「基礎中国語Ⅰ」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	中元 崇智	平成23年4月	歴史学	兼任	講師	小久保 嘉紀	平成23年4月		担当者変更(23)
					専	助教	青島 陽子	平成23年4月		担当者変更(23)
兼任	講師	仲山 茂	平成23年4月	考古学						
兼任	講師	西本 昌司	平成24年4月	文化情報・メディア論 ※						
兼任	講師	野地 恒有	平成23年4月	文化人類学 民俗学						
兼任	講師	バコウスキー トニー	平成23年4月	Communicative English I Communicative English II						
兼任	講師	林 芳樹	平成23年4月	統計学入門 数理学 確率入門						
兼任	講師	パトリック デイビス	平成23年4月	Communication Skills I Communication Skills II						
兼任	講師	菱川 晶子	平成23年4月	民俗学						
兼任	講師	桧森 隆一	平成25年4月	文化政策論						
兼任	講師	平川 雄一	平成23年4月	情報総合演習						
兼任	講師	細谷 聡	平成25年4月	スポーツ方法Ⅶ						
兼任	講師	本田 安都子	平成23年4月	Reading TOEIC						「Reading」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、本人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	マーサ ロバートソン	平成23年4月	Reading TOEIC Practical English I Practical English II Advanced Reading I Advanced Reading II						「Reading」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	松田 香代子	平成23年4月	民俗学						
兼任	講師	松村 美奈	平成23年4月	古典の世界						
兼任	講師	松山 明	平成24年4月	生活インフラ論						
兼任	講師	水木 一恵	平成23年4月	日本語・表現 I 日本語・表現 II 日本語・論文技術(基礎) I 日本語・論文技術(基礎) II 日本語・論文技術(応用) I 日本語・論文技術(応用) II						「日本語・表現I」、「日本語・表現II」、「日本語・論文技術(基礎)I」、「日本語・論文技術(基礎)II」、「日本語・論文技術(応用)I」、「日本語・論文技術(応用)II」は、留学生を対象としており、平成23年度は留学生不在のため開講しない(23)
兼任	講師	三田 妃路佳	平成25年4月	公共セクター論						
兼任	講師	宮崎 幸子	平成23年4月	スポーツ・健康演習						
兼任	講師	森 暢子	平成24年4月	Advanced Reading I Advanced Reading II						
兼任	講師	森田 啓	平成25年4月	スポーツ方法 VII						
兼任	講師	森田 優己	平成25年4月	交通運輸政策論						
兼任	講師	森田 実	平成25年4月	森林の管理と経営						
兼任	講師	森野 誠之	平成23年4月	マルチメディア表現						
兼任	講師	安田 好文	平成23年4月	スポーツ・健康演習						
兼任	講師	柳原 大	平成25年4月	スポーツ方法 VI						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	山口 宏	平成23年4月	社会学						
兼任	講師	山田 棟司	平成24年4月	スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	山中 高光	平成23年4月	経済学						
兼任	講師	山本 隼彦	平成25年4月	学校保健						
兼任	講師	ヤングアンソニー エドワード	平成23年4月	Communication Skills I Communication Skills II Communication Skills III Communication Skills IV	兼任	助教				本学文学部の教員として採用されたため(23)
兼任	講師	劉 慶普	平成23年4月	入門中国語Ⅰ 入門中国語Ⅱ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ						「入門中国語Ⅰ」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、当人が文学部クラスを担当することに伴い、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	龍 昌治	平成23年4月	ネットワーク演習 情報総合演習						「情報総合演習」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
兼任	講師	リンダ ドナーン	平成24年4月	Practical English I Practical English II						
兼任	講師	和崎 春日	平成23年4月	文化人類学						
兼任	講師	渡邊 齊	平成25年4月	環境政策論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	渡部 琢也	平成23年4月	スポーツ・健康演習 スポーツ実技Ⅰ ジュニアスポーツ論 運動生理学						「スポーツ・健康演習」は、担当科目の調整の結果、平成23年度は担当しない(23)
					専	助教	ロイック ルヌウ	平成23年4月	入門フランス語Ⅰ	「入門フランス語Ⅰ」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、本人が当該学部クラスを担当することに伴い追加(23)
					兼任	講師	小林 奈央子	平成23年4月	宗教学	教育の充実を図るため追加(23)
					兼任	講師	朴 蓮淑	平成23年4月	入門韓国・朝鮮語Ⅰ 入門韓国・朝鮮語Ⅱ	姜信和兼任講師の体調不良に伴い追加(23)
					兼任	講師	孟 文蕾	平成23年4月	基礎中国語Ⅰ 基礎中国語Ⅱ	「基礎中国語Ⅰ」及び「基礎中国語Ⅱ」は、当該学部と文学部の共通教育科目として開講されており、本人が当該学部クラスを担当することに伴い追加(23)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 (△)学科の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

## (2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
20	6	0	3	29	0	21	5	0	3	29	0	西村正広が、平成23年4月准教授から教授に昇格
( 19 )	( 5 )	( 0 )	( 3 )	( 27 )	( 0 )	[ 1 ]	[ Δ1 ]	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等 【該当なし】

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 ( 年 月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<地域政策学部 地域政策学科>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校教諭一種免許状（保健体育）</li> <li>・ 高校教諭一種免許状（保健体育）</li> </ul>	<p>中学校教諭一種免許状（保健体育）及び高校教諭一種免許状（保健体育）について、中央教育審議会教員養成部会課程認定委員会で、学科等の目的・性格と免許状との相当関係が認められず、認定することができないとされ、申請を取り下げることになった。</p> <p>それに伴い、以下について、学則に変更を加えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学則第3条について、「健康・スポーツコース」だけ切り分けて入学定員（30名）、収容定員（120名）を設定していたが、切り分けないこととし、学部・学科で一本化して、地域政策学科入学定員（220名）、収容定員（880名）といった定員の表記のみとした。</li> <li>・ 学則第14条別表第1項別表の中の「地域政策学部」の「教職課程科目」について、「スポーツ史」は不要となるため、削除した。</li> <li>・ 学則第18条第2項別表「教育職員免許状の認定課程及び免許状の種類」から、「保健体育」を削除した。</li> <li>・ 学則第18条第3項別表「教職に関する科目の授業科目表」について、「授業コミュニケーション論（保健体育）」、「保健体育科教育法Ⅰ～Ⅳ」は不要となるため、削除した。</li> </ul> <p>さらには、「設置の趣旨等を記載した書類」において、「養成を目指す人材」、「卒業後の具体的進路」、「健康・スポーツコースの特色」等で、保健体育の教職課程認定を受けられることを前提に記載していたが、それを除いた形で設置計画を進めることになった。</p> <p>なお、上記により地域政策学部独自の教員組織や教育課程については、変更を行っていない。具体的な対応としては、学則を修正し、兼任教員が担当することとされていた教職課程の一部の科目の開講を取りやめたのみである。</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学的な組織として、FD委員会を設置している。</p> <p>【別紙1「FD（ファカルティ・ディベロップメント）委員会規程」を参照。】</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>平成22年度は、以下のとおり開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回委員会（5/15）出席委員13名 欠席委員0名</li> <li>・ 第2回委員会（10/23）出席委員11名 欠席委員2名</li> <li>・ 第3回委員会（2/26）出席委員9名 欠席委員4名</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会では、次の活動を行うこととしており、関係事項を審議している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD活動に関する情報・資料の収集及び広報活動</li> <li>・ 教育の実情等の視察</li> <li>・ 教育の内容・方法の改善に関する検討とそのための研究会、講演会等の開催</li> </ul>
---

- ・学生による授業評価等、適切な評価システムの研究と提案
- ・教育と研究の総合的な発展のための諸施策の検討と提案
- ・その他、本学における教育・研究の発展のための諸活動

## ② 実施状況

### a 実施内容

平成22年度は、全学的な取り組みとして以下の活動を実施した。平成23年度以降は、地域政策学部もこれらの取り組みに積極的に参加する。

- 1) 学生による授業評価アンケート
- 2) FDフォーラム
- 3) 授業改善研修参加助成
- 4) 新任教職員研修会
- 5) FD懇話会

### b 実施方法

- 1) 学生による授業評価アンケート：各学期1回ずつ実施。最低1科目アンケートを実施。
- 2) FDフォーラム：FDのあり方等、教育に関する全学的な問題を考える機会として実施。
- 3) 授業改善研修参加助成：学外で開催される授業改善に資する研修について参加費等を助成。
- 4) 新任教職員研修会：各教員に模擬講義をもらい、講師を含めた研修参加者全員で意見交換。
- 5) FD懇話会：各教員が普段感じている疑問や課題を解決するため、意見交換を行う機会を設定。

### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) 学生による授業評価アンケート  
 春学期実施状況：専任221名中208名が実施 実施率94.1% 非常勤275名中231名が実施 実施率84.0%  
 秋学期実施状況：専任223名中205名が実施 実施率91.9% 非常勤253名中228名が実施 実施率90.1%
- 2) FDフォーラム 年度当初に講演会形式で開催。参加者は約150名。
- 3) 授業改善研修参加助成 助成件数4件。
- 4) 新任教職員研修会 専任教員歴が5年未満の若手教員を対象に開催。参加人数4名。
- 5) FD懇話会 月1～2回のペースにより、春学期は名古屋校舎で、秋学期は豊橋校舎で開催。

### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 学生による授業評価アンケート：各教員に集計結果に対する分析等のコメントを求めており、授業内容の改善につながるような仕組みを整えている。
- 2) FDフォーラム：大学教育及び授業改善に関する実践例や研究報告の講演を通じてFD活動の推進を図っている。
- 3) 授業改善研修参加助成：参加報告書をFD委員会ホームページなどに掲載し、各教員の授業改善に役立ててもらっている。
- 4) 新任教職員研修会：よりよい授業のあり方を考察し、授業内容・教授法等の工夫・改善のための契機とした。
- 5) FD懇話会：教員同士が話し合い、交流することで、授業改善・問題解決につながることを期待して実施した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2参照。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・年1回、年度末に公表している。

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上で公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に大学基準協会の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成23年6月1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
(<http://www.aichi-u.ac.jp/profile/10.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

## FD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会規程

(名称)

**第1条** 愛知大学(以下「本学」という。)は、学内理事会のもとにFD(ファカルティ・ディベロップメント)委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

**第2条** 委員会は、大学の2大機能である教育と研究の発展について検討を進め、関係する諸機関と協力して、特に教育機能の改善を推進することによって、本学の大学としての質的向上を図ることを目的とする。

(活動内容)

**第3条** 委員会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) FD活動に関する情報・資料の収集及び広報活動
- (2) 教育の実情等の視察
- (3) 教育の内容・方法の改善に関する検討とそのための研究会、講演会等の開催
- (4) 学生による授業評価等、適切な評価システムの研究と提案
- (5) 教育と研究の総合的な発展のための諸施策の検討と提案
- (6) その他、本学における教育・研究の発展のための諸活動

(組織)

**第4条** 委員会は、次の各号に定める委員長及び委員をもって組織する。

- (1) 委員長 1名
  - (2) 委員 13名
- 2 委員長は、副学長及び学部長(短期大学部長を含む。)のなかから学長の推薦により委嘱する。
- 3 委員は、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、法学部、経営学部、現代中国学部、地域政策学部、短期大学部、法科大学院及び会計大学院より各1名、並びに事務職員より3名を選出し、学長が委嘱する。
- 4 前項の委員のうち、文学部、経済学部、国際コミュニケーション学部、地域政策学部、法学部、経営学部、現代中国学部、短期大学部、法科大学院及び会計大学院より選出する委員にあつては学部長(短期大学部にあつては部長、法科大学院にあつては大学院法務研究科長、会計大学院にあつては大学院会計研究科長)の推薦によって選出し、事務職員より選出する委員にあつては課長会議の推薦によって選出するものとする。

(任期)

**第5条** 委員長及び委員の任期は2年とし、4月1日から起算する。

- 2 委員長及び委員が任期中に交替したときは、後任者の任期は前任者の残任期間とする。
- 3 委員長及び委員は、再任を妨げない。

(会議)

**第6条** 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長が事故ある場合には委員長が代行者を指名し、指名が不可能なときは学長が招集した会議において代行者を決定する。

**第7条** 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(幹事)

**第8条** 委員会の幹事には、企画・広報課からあてる。

2 幹事は、委員長の指揮をうけて会務を処理する。

(主管課)

**第9条** 委員会の事務に関する主管課は、企画・広報課とする。

(改正)

**第10条** この規程の改正には、愛知大学教授会規程第17条を準用する。

**附 則**(制定)

1 この規程は、2000年7月1日から施行する。

2 第5条第1項の規定にかかわらず、この規程により初めて選出する委員長及び委員の任期は、2002年3月31日までとする。

**附 則**(事務組織の改編による事務分掌の移管に伴う改正)

この規程は、2002年4月17日から施行する。

**附 則**(学部長会議を廃止し、学内理事会を設置することに伴う改正)

この規程は、2002年11月2日から施行する。

**附 則**(委員会組織の変更に伴う改正)

この規程は、2004年4月1日から施行する。

**附 則**(専門職大学院会計研究科の設置に伴う改正)

この規程は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**(事務組織の再編に伴う改正)

この規程は、2007年4月25日から施行する。

**附 則**(地域政策学部の設置及び字句整理に伴う改正)

この規程は2011年4月1日から施行する。

## 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域政策学部は、「地域を見つめ、地域を活かす」を学部理念とし、政策学に関する知識を基礎に、地域とその諸問題を深く理解し、まちづくりと持続可能な社会づくりに貢献する人材を養成することを目的として、設置された。幅広い職業人に必要な教養と地域政策に関する専門知識を学習させ、アクティブ・ラーニングを重視し、地域を分析する技能を修得させる。これらを基礎に、安定的で個性的なまちづくり・社会づくりへ修得した知識と技能をバランスよく対応させるとともに、多様な能力を持つ人々や組織と協力して問題解決に取り組む「地域貢献力」を育成することとしている。

上記のような本学部の教育・研究上の目的が、受験生や保護者に受け入れられたことにより、平成23年入試では、入学定員220名に対して、志願者1,617名、受験者1,595名、合格者636名となり、最終的に285名が入学した。

当初設置計画については、P.41(1)「設置計画変更事項等」の記載事項以外に変更はなく、次年度以降も学年進行に従い、教員組織、教育課程をはじめとする設置計画を着実に履行していきたい。